

航空安全・事故調査シンポジウム

—— 日本航空123便事故後30年 ——

主催：特定非営利(NPO)法人 航空・鉄道安全推進機構(ARSAP)

後援：運輸安全委員会 国土交通省航空局 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 申請中

世界航空事故史上、単独機事故としては最大の惨事となった日本航空123便事故から30年が経過します。事故そのものを知らない世代が増える中、この事故の実相や教訓は何だったのか、事故調査関係者を中心に当時の調査活動を振り返るとともに、事故の教訓がどのように生かされてきたか、いかに次世代に継承していくことができるかを考えるシンポジウムを開催します。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日 時 平成27年7月22日(水) 13時～17時30分 受付開始12:30

場 所 東京大学弥生講堂一条ホール

東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内

TEL 03-5841-8205

<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/map.html>

参加費 無 料

定 員 250名 定員に達し次第募集締め切り

お申し込みは、ホームページ <http://npo-arsap.org/> よりお願いします。

プログラム

13:00 開 演 総合司会:渡辺 顯 (NPO法人 航空・鉄道安全推進機構 理事)

開会の挨拶 主宰者挨拶

来賓挨拶 後藤昇弘氏 運輸安全委員会委員長

〈第一部 事故調査とその教訓を語る講話〉

1 単独機では世界最大の事故－事故と事故調査の概要

元航空事故調査委員会 首席航空事故調査官 藤原 洋氏

2 航空宇宙技術研究所の支援－DFDR解析・飛行性解析

元航空宇宙技術研究所室長 川幡 長勝氏

3 世界の安全基準を変えた－事故後の安全対策

元運輸省航空局技術部長 平澤 愛祥氏

4 緊急事態への対応能力の強化－航空会社の取り組み

元日本航空機長 岩瀬 健祐氏

5 事故調査と被害者支援は車の両輪－安全文化を高めたい

8.12連絡会事務局長 美谷島 邦子氏

休 憩 15:50～16:05

〈第二部 パネルディスカッション〉 ~事故を風化させないために~

モデレーター: 北村 行孝 (NPO法人 航空・鉄道安全推進機構 理事)

パネラー: 藤原 洋氏 川幡長勝氏 平澤愛祥氏 岩瀬健祐氏 美谷島邦子氏

質疑応答

17:25 閉 会

終了後、懇親会を行います。任意参加です。

場 所 弥生講堂一条ホール内ロビー

費 用 4,000円 講演会と一緒にお申し込みください。

費用は当日受付で徴収します。